

議員研修会

8月19日
KKRホテル熊本において開催された
第22回熊本市議会議員研修会に参加
講師:同志社大学学長 村田 晃嗣 氏
○講演内容:「変動する国際情勢と日本の課題」



講演を通して、物事をあらゆる角度から見つめることの重要性を学ぶことができたのと同時に、我々議員も日頃よりもっと国際情勢に関心を持つべきと感じた。

熊本県下14市の市議会議員及び事務局が参加する研修会では毎年、様々な講師を招いて開催されるが、今回の講演では、近隣のアジア諸国と日本の関係や日本が抱える課題等について講演が行われた。また、「ゴジラ」や「猿の惑星」など馴染み深い映画等を題材に当時の時代風景、作者が世界に向けて伝えたい事などをユーモラスな表現で説明された。

政務活動報告

●楠本千秋、松江雅輝、若山敬介、中尾友二、古賀源一郎、濱洲大心

7月30日
埼玉県飯能市「東吾野医療介護センター」
○視察内容:市立病院の経営体制について

調査目的:天草市においても、4施設の市民病院をかかえており経営体制の見直し等を参考にするため視察を行った。



施設の説明状況

飯能市の市立病院は患者が少なく、毎年2億円近い税金を投入し赤字運営体制であった。
また医師の確保も困難で公務員のため職員の人件費が高いなどの問題があり、地区懇談会を行い病院改革を行う事を決定された。
現在は民間医療機関に経営を委託し外来診察、人間ドック、検診、介護老人施設や通所型リハビリテーションとしての経営を行われ、コスト削減にもつながっているとのことであった。

●大塚基生、益田政昭、下田昇一郎、柴田誠

8月6日～7日
岡山県において開催された全国市議会議長会による議員研修に参加
基調講演:増田寛也氏(東大大学院客員教授・野村総合研究所顧問、安倍政権の政策参謀)
○講演内容:人口減少時代と地方議会のあり方



増田氏は、全国896市区町村が「消滅可能性都市」とする、衝撃的な発表をされた方で、人口減少時代に入った日本の危機的現状を分析し、今後の政策を提案されている。2008年1億2808万人をピークに人口減少に転換し、2050年推計では9708万人、2100年には4959万人と推計。
人口減少の要因は、20～39歳の若年女性の減少と地方から大都市圏へ若者の流出があげられる。東京へは、年間10万人超(15歳～24歳が90%)が移動し、大都市(一都三県)の人口シェアは約30%弱。他の先進国の主要都市に比べ2倍ある。その結果、首都圏は高齢化に伴い医療・介護サービスが不足し、

地方はサービス過剰に陥り、地方の経済活力は低下する。
都市圏への流出に歯止めをかけ、出産と子育て環境の整備が、今後の地方自治の重要政策の一つであると改めて痛感した。
また、基調講演のほか、「分権改革20年と地方議会のあり方」と題したパネルディスカッションや「議会のあり方について」の討議が行われた。2日間の研修で、地方分権時代における議会のあり方や課題、さらには議員に求められていることなどを改めて再確認できた。

世界遺産取り組みについて、不妊治療・出産・育児について、健康長寿日本一について



柴田 誠 議員

【世界遺産取り組みについて】
柴田 世界遺産登録の経済効果について。
観光文化部長 登録年に観光客数約16万人、それに伴う観光消費額が約7億4千万円。仮定による推計では、観光振興、物産振興などの多くの経済効果をもたらすと考

柴田 保育料軽減について。
健康福祉部長 現在策定している天草市子ども・子育て支援事業計画に合わせ、見直しを行い、保護者の負担軽減を図る。



【不妊治療・出産、育児について】
柴田 不妊治療に対する天草市の補助、相談状況について。
健康福祉部長 県では一部の費用を助成している。本市での助成は現在なし。導入に向けて調査したい。県の特定不妊治療費助成の本



【健康長寿日本一について】
柴田 各町、全員参加、企業対抗スポーツ大会について。
市長 日本一の健康寿命都市にならざるよう、市内全域で開催できるニュースポーツを含めたスポーツイベントの開催を指示していく。

柴田 「女性の日」創設について。
地域振興部長 性別役割分担は高い状況にあるが、最近では積極的に行う男性も増えている。天草市男女共同参画週間を活用し、もっと強く推進していきたい。

子ども達をとりまく環境・市発注の工事
本渡地域への要望・相談窓口の一元化



下田昇一郎 議員

【子ども達をとりまく環境】
下田 県が2月に出した「小学校運動部活動を社会体育へ移行」の提言を受けて本市の今後の取り組みは、
教育長 まずは各学校や保護者の意見を集約し、その後指導者や社会体育の実態を把握したうえで、本提言に対する対応について協議する。



県が2月に出した提言書

下田 熊本では昭和40年代に社会体育への移行を目指して失敗している経緯もあるので慎重に進めてもらいたい。
下田 楠浦町錦島プールの更衣室内で盗難などが多いと聞く。鍵付きのコインロッカーの整備の検討を。
地域振興部長 古いコインロッカーを少しずつ新しい物に交換し、子ども達が犯罪に合わない、起こさない対応を図る。
下田 御所浦地区でのスクールポ

【本渡地域への要望・相談窓口の一元化等について】
下田 ポルトへの2部局移設の目的の確認。
市長 本渡地域の要望相談ができてやすい環境をつくるため、また天草宝島観光協会と一体となった観光振興の推進を図るため「まちづくり支援課」と「観光振興課」をポルトへ移転する。さらに、2課29人の職員を配置する事により「人の動き」を創り出し、中心市街地の賑わいを促進したいと考える。
下田 移転先はポルトのみならず空き店舗を活用するなど職員駐車場の問題と併せての再検討を願う。